

授業概要

本講義では、中東から北アフリカ、内陸アジア、そして海域アジアにひろがるイスラーム世界について、軍事史の視点を軸にしつつ、通史的な知識を得ることを目指す。現在、世界有数の紛争地帯を抱えるイスラーム世界であるが、そのために「イスラームは好戦的な宗教である」という偏見が存在している。こうしたイメージに晒されるイスラーム世界と共生するためには、イスラーム世界と軍事とのかかわりの実態を歴史的に把握し、偏見を払拭することが求められている。そこで、軍事、戦争がイスラーム世界の政治・社会・文化的展開に与えた変化について見ていくことで、今日のイスラーム世界が抱える紛争という課題の考察に機会を与えるような講義を行う。

授業計画

第 1 回	イントロダクション	現在のイスラーム世界と紛争
第 2 回	イスラームのはじまり	戦争とイスラーム成立のかかわり
第 3 回	イスラームのひろがり	「聖戦」とイスラームのイラン・地中海世界への拡大
第 4 回	内陸アジアのイスラーム化	トルコ系マムルークの軍事能力
第 5 回	イスラームとヨーロッパ	十字軍に逐われるイスラーム世界
第 6 回	海域アジアのイスラーム化	イスラーム世界の「大航海時代」?
第 7 回	中国内陸のイスラーム化	モンゴル帝国のもとで拡大するイスラーム世界
第 8 回	東欧のイスラーム化	キリスト教徒騎士の援護とイスラーム世界の拡大
第 9 回	火薬の帝国	日本の火縄銃とイスラーム世界から来た「もう一つの火縄銃」
第 10 回	軍事革命	ヨーロッパがイスラーム世界に勝った理由
第 11 回	近代軍隊の創設と挫折	ヨーロッパによるイスラーム世界の植民地化
第 12 回	難民の時代：19 世紀	治安維持が生むイスラーム教徒の移動
第 13 回	戦争の世紀：20 世紀	世界大戦に翻弄されるイスラーム世界
第 14 回	イスラームと米ソ冷戦	中東戦争からアフガニスタン戦争まで
第 15 回	イスラームと現代の紛争	「弱者の戦術」としてのテロとドローン
第 16 回	筆記試験	

到達目標

- ・イスラーム成立から現代まで、イスラーム世界がたどった歴史をおおまかに把握する。
- ・各時代・地域における軍事や戦争の特色、イスラーム世界の歴史に与えた影響を理解する。
- ・歴史に根差した長期的視野を持つことで「好戦的なイスラーム」像を考え直す。

履修上の注意

高校時代に世界史、さらに地理を履修していた方は、それぞれの教科書の該当する時代・地域について読んでおくとう理解が容易になります。ただし、イチからでも理解できるよう、イントロダクション等で前提知識を補います。

予習・復習

- ・予習の必要はありませんが、授業中に配布したレジュメを読み返してください。
- ・講義で示した参考文献のうち、とくに興味を持ったものを読んでみてください。

評価方法

- ・授業期間中の小テスト、リアクションペーパー（40%）
- ・試験（60%）

テキスト

- ・教科書は使用せず、レジュメを毎度配布します。
- ・そのほか、参考文献を各授業で紹介いたします。